

I 学校の概要（校区について）

1 自然環境

霧島山系の麓に位置し、雄大な景観が開けている。原生林など山野自然に恵まれており霧島川の清流と合わせて、まさに山紫水明の地である。

2 学校の位置

県の北東部、標高 240m、北緯 31° 49'，東経 130° 50' に位置し、霧島市霧島地区の中央部にある。

3 近隣の公共施設

霧島総合支所，基幹集落センター，中央公民館，市営グラウンド，国分警察署大窪駐在所，霧島神宮駐在所，国分消防署霧島分遣隊，JR霧島神宮駅，JR北永野田駅，JA霧島，幼稚園，保育園，歴史民俗資料館，みどりの村，神話の里公園，ビジターセンター，神ノ湯，等

II 避難訓練の取組の概要

1 取組の内容，方法等

(1) 内容

- ア 不審者対応訓練
- イ 火山噴火を想定した避難・引渡し訓練
- ウ 土砂災害・地震・火災等を想定した避難訓練

(2) 方法

- ア 実際の不審者侵入を想定した訓練（令和3年度：清掃時間に侵入を想定）
- イ 緊急メールを活用し保護者へ避難状況や避難開始について伝え、実際に引き渡す訓練

2 避難訓練の目的

- (1) 避難経路を確認の上、指示や放送を聴き、状況に応じて安全かつ速やかに避難できるようにする。
- (2) 職員間で役割を確認し、緊急時に迅速かつ的確に行動できるようにする。
- (3) 保護者や地域関係機関と連携を図り、迅速な連絡・引渡し訓練を行い、防災意識の高揚を図る。
- (4) さまざまな災害に対して「自分の命は自分で守る」という意識や態度を育てる。
- (5) 本校は、崖崩れや土砂災害により被害が及ぶ可能性が高い地域（土砂災害警戒区域）に立地していることを知り、どのように避難するかを想定する機械とする。

3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) 年度当初、保護者への緊急メールの登録を依頼し、登録を確認した。
- (2) 新型コロナウイルスの感染状況により開催方法の工夫が必要となったので、zoom やマイクロソフトチームスを活用し、リモートで開催したり、会場を分散したりできるように準備した。

4 避難訓練の状況

- (1) 火山の噴火を想定した避難・引渡し訓練の実施

ア 開催期日	令和3年6月14日
イ 参加者	全生徒，保護者，職員
ウ 引渡し	保護者（50人）
エ その他	メールにより状況や引渡し開始の連絡
- (2) 地震・火災を想定した避難訓練の実施

ア 開催期日	令和3年12月8日
イ 参加者	全生徒，消防署，職員
ウ 消火活動	代表生徒6人
エ その他	土砂災害等の説明



【引渡しの場面】



【消火活動の場面】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

- 年々、保護者への引渡しがスムーズになってきている。
- リモートで訓練の実施ができるように準備ができた。
- 生徒・職員が崖崩れ・崖崩れにより被害が及ぶ地域であることを知ることができた。
- 校区安全マップや危機管理マニュアル等、学校HPを充実させることができた。

(2) 課題

- 2次避難場所での引渡しを想定した訓練の実施を発展的に検討する。